

しまね社会貢献基金登録団体

島根半島四十二浦巡り再発見研究会



神話半島を
旅しよう

団体の活動、セールスポイント

島根半島の西側出雲大社から東側の美保神社に至る42ヶ所の浦々と神社を巡り、中央部の一畑薬師に詣でる古来の巡礼道を再発見し、県内外の方に小さな旅、神話聖地の旅として紹介し、地域振興・観光振興に貢献する。

研究会設立から平成30年度までおよそ10年間で、旅行代理店と共催して、七浦巡り・浦々の祭礼を訪ねる四十二浦巡りパスツアーを開催し、県内外から多数参加頂きました。日御碕の「夕陽の祭」、野波浦の奇祭「ガッチ祭」等浦々の祭礼は様々な信仰の形が印象に残るものでした。



団体から寄附者へのPR

島根半島は多くの神社が出雲国風土記に載っていて、また古事記の神話の舞台です。島根半島四十二浦巡りは、神社だけを巡る旅であり、願掛けの苦行の旅でもありました。激しい人口減少を続ける島根半島は、日本人の心の故郷であり、「島根半島四十二浦巡り」は、守り伝えるべき信仰習俗であり、多くの方々に訪ね歩いて頂き、観光振興と地域の発展につながるよう活動支援をお願いします。

寄附を受けて取り組みたい事業

これまでに寄附を活用して実施した事業

松江市島根町瀬崎の平山に出雲国風土記に記載されている「瀬崎の成」展望台を整備しましたので、大山・隠岐諸島の眺望をお楽しみ下さい。

また、古代史研究者関和彦氏の出雲国風土記・古事記などにより島根半島の古代史を読み解き、現在の情景を多数の写真等により紹介するためガイドブック『島根半島四十二浦巡りの旅』を刊行しました。また、四十二浦の神社においてある朱印を集めるスタンプラリーを実施しましたが、その朱印は今でもありますので、研究会で作成した『宝印帳』などで朱印を集めて下さい。さらに島根半島・宍道湖中海ジオパークが認定されたので、明治時代に『古事記』を片手に松江を訪ねた小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の出雲の旅を探訪するガイドブック『小泉八雲の足跡探訪—松江・出雲・隠岐諸島の旅—』を関和彦・八雲のひ孫小泉凡、ダスティン・キッドの各氏に執筆頂き刊行しました。

団体の目標

●無形民俗文化財として評価を受けて、後世に伝えたい。



●四十二浦巡りと浦々の歴史・文化・伝説・景勝を伝承するふるさとガイド員(仮称)を養成し、訪問者への案内体制を確立すること。

島根半島四十二浦巡り再発見研究会

代表者 飯塚大幸

〒691-0074
島根県出雲市小境803 一畑薬師内
tel/ fax 090-4572-0641(事務局)
mail kowata189sky@yc4.so-net.ne.jp
hp <http://42ura.jp>